

令和6年度事業報告について

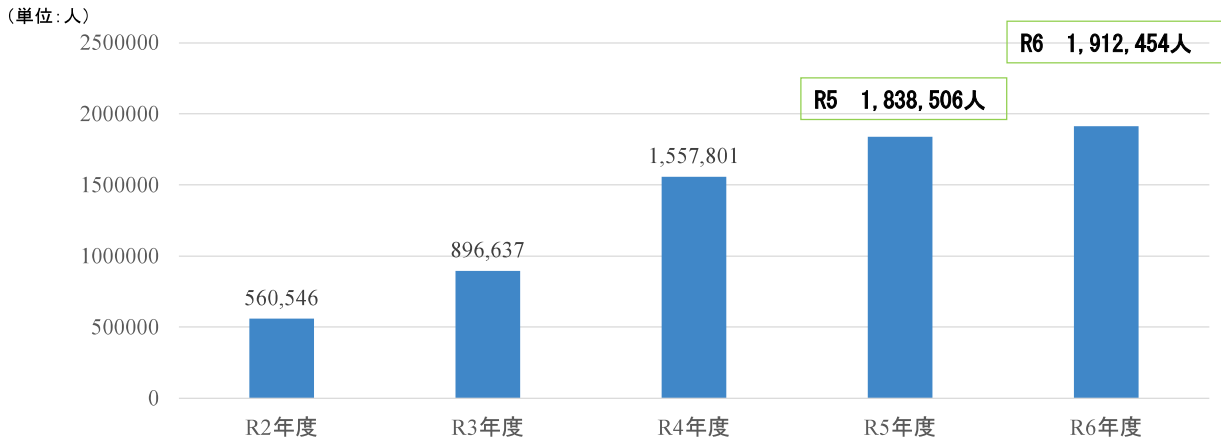


○事業方針

- ・**スポーク(九州と外とを結ぶ)の充実・強化** — 路線の充実及び利用促進 —
- ・**ハブ(大分空港)の充実・強化** — 空港ターミナルの整備及び機能強化 —

○利用者数の推移

前年度に比べて約7万4千人増え、約191万人(前年度比4.0%増)となった。
 コロナ禍前の平成30年度の200万人と比べ、約95%まで回復してきている。



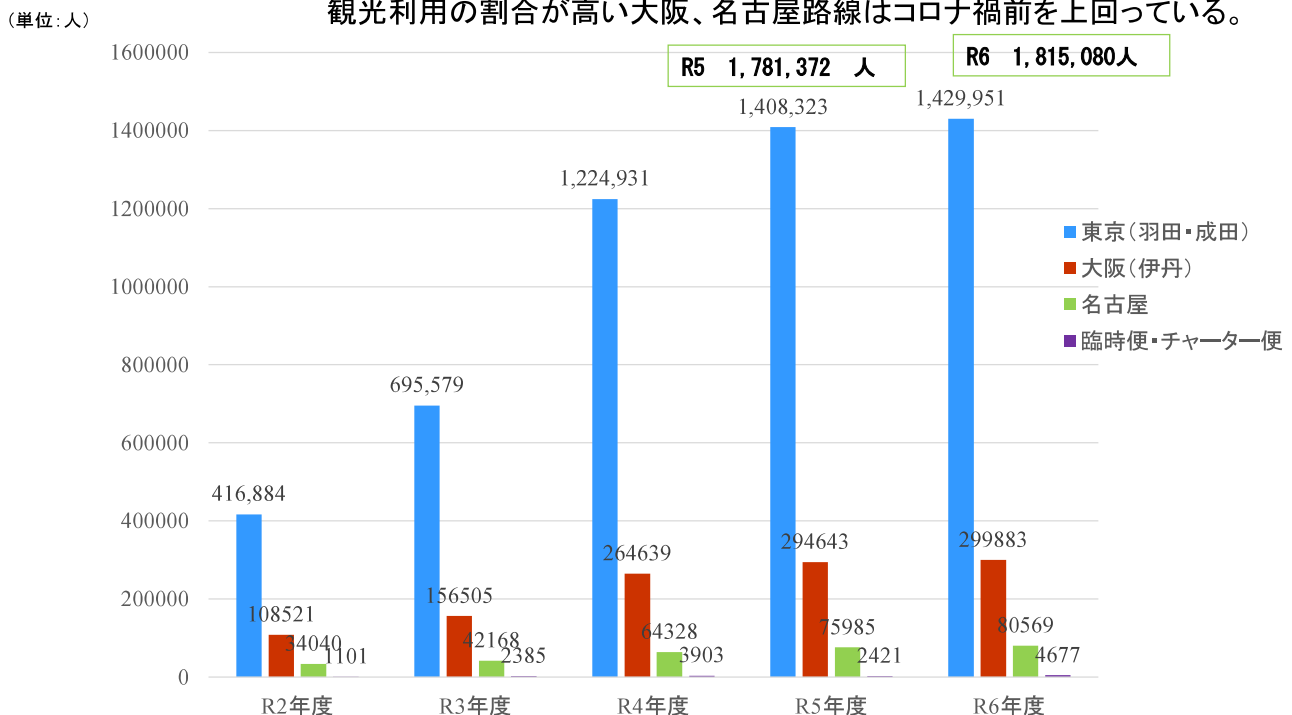
[ソウル線] TW通年運航 運休 KE季節運航 運航せず [フサン線] [ムアン線] TW通年運航 運休 [国内線] R3.2 ビーチ・ピエーション就航	[ソウル線] TW通年運航 運休 KE季節運航 運航せず [フサン線] [ムアン線] TW通年運航 運休	[ソウル線] TW通年運航 運休 KE季節運航 運航せず [フサン線] [ムアン線] TW通年運航 運休	[ソウル線] JJA通年運航 R5.6~ KE季節運航 R6.1~3 [フサン線] [ムアン線] TW通年運航運休 [台北線]CI チャーター運航2往復	[ソウル線] JJA通年運航 (R6.10~デイリー) KE季節運航 運航せず [フサン線] [ムアン線] TW通年運航運休
--	--	--	---	---

1 航空ネットワークの拡充



【国内線】

国内線の利用者数は、対前年度比で1.9%増の182万人となった。
 東京路線の戻りには課題が残るが、着実に利用が増えている。
 観光利用の割合が高い大阪、名古屋路線はコロナ禍前を上回っている。



1 航空ネットワークの拡充



◆国内線の拡充

コロナの影響も収束したことから平常時の運航状況に戻せるよう利用促進を図った。

利用促進【大分県の魅力・情報の発信と利用促進策の強化】

①航空会社と連携した情報発信・利用促進

【日本航空(JAL)】

- 「ふるさとむすび」を活用した情報発信（R6.7.1～R7.1.31）
- 地域と都会をつなぐ関係人口創出型マッチングプラットフォームである、「ふるさとむすび」を活用し、大分県への誘客促進を図った。

<投稿例>



1 航空ネットワークの拡充



【全日本空輸(ANA)】

- 大分空港でイベントを行い、大分空港及び航空機利用の魅力を発信した。（R7.1.18）



<ANAチーム羽田オーケストラによるライブ>

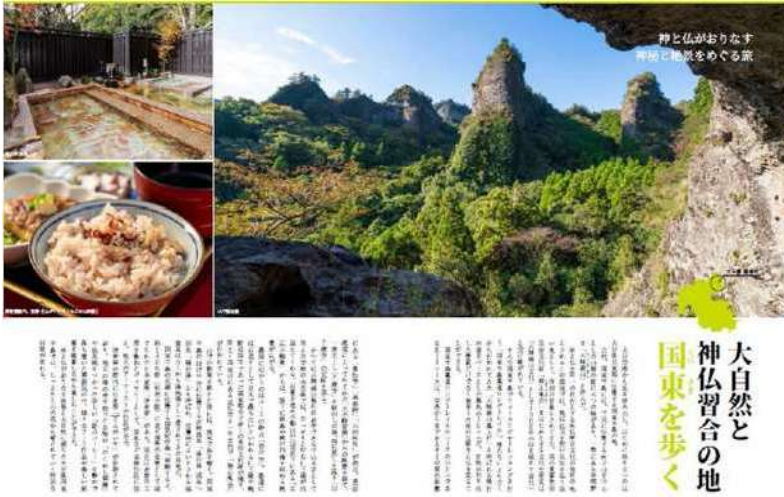
<トークショー及び展示の様子>

1 航空ネットワークの拡充



【ソラシドエア(SNA)】

➢機内誌1月号での発信や、首都圏で実施するイベントへのブース出展を通し、大分県全体への誘客を図った。



<機内誌1月号>



<イベント>

1 航空ネットワークの拡充



【IBEXエアラインズ(IBX)】

➢インフルエンサーを活用したYouTube動画ならびにWEBページでの大分の旅行紹介を通し、誘客促進を図った。(R7.1~3)

0:00:挨拶・動画概要説明



1:29:お食事処「とよ常」



10:05:コロッケ食べ歩き



10:43:別府冷麺



3:20:地獄めぐり



5:00:温泉グルメ食べ歩き



12:27:昭和の町散策



14:07:とり天を味わう



<投稿例>

1 航空ネットワークの拡充



【ジェットスター・ジャパン(JJP)】

- オンライン広告を利用し、大分線の利用を促進した。
- 三者連携協定(大分県、大分大学、JJP)に基づく講座を開講した。
R7.2.17の報告会では、現在の大分空港の状況を分析し、利用促進に資するキャンペーン等のプレゼンテーションを実施した。

<広告>

<講義の様子>

<プレゼンテーションの様子>



1 航空ネットワークの拡充



【ピーチ・アビエーション(APJ)】

- Yahoo! やGoogle、SNSなどにweb広告を掲出し、大分県への誘客促進を図った (R6.7.1~R6.8.31)

<Instagram等での広告配信>



<Google広告>



<Yahoo! での広告配信>



1 航空ネットワークの拡充



②航空需要の創出

【宮古島(沖縄)へのチャーター便運航】

- 運休している沖縄との定期便再開を目指し下地島空港へチャーター便を運航した。(R7.1.30~2.1 ソラシドエア 170席)
- 商品は2週間ほどで完売となり、利用者からは好評の声をいただいた。

【空港アクセス情報発信】

- 県内観光地と大分空港を紐づけて認識してもらえるよう、Web及び雑誌で大分空港からのアクセスの利便性を発信した。(Web:R6.9~10、雑誌:るるぶ、まっぷるR6.12)

【大分駅での空港利用促進イベント】

- R7.3.2に大分駅で、大分空港の利用促進を目指し航空会社や自治体ブースを出展
- 物販や抽選会を通し、航空や大分空港の魅力を発信した。

<チャーター出発の様子>



<アクセス情報>



<大分駅イベントの様子>

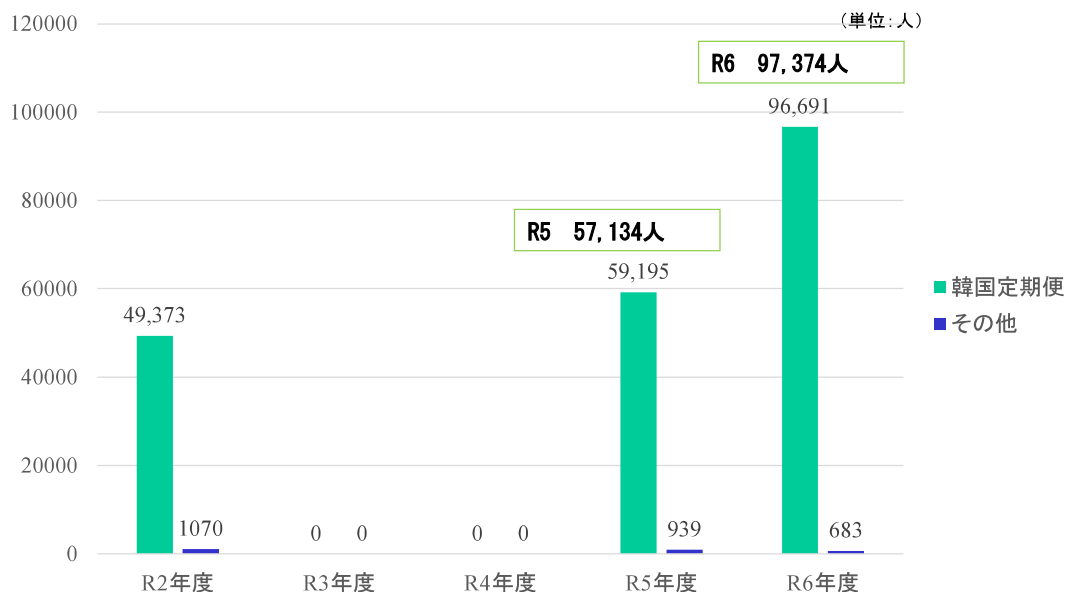


1 航空ネットワークの拡充



〔国際線〕

国際線は、韓国線の増便が実現し、前年度から約4万人利用者が増え、約9万7千人の利用となった。



1 航空ネットワークの拡充



◆国際線の拡充

就航再開及び新規就航に向けた調整、定期便の安定的な運航に向け、運航費用軽減支援や利用促進策を実施した。

(1) 路線の拡充

① 定期便

【韓国】

➢ チェジュ航空

R5.6.22～就航、R6.1.12～週5便運航

R6.10.27～週7便(デイリー)運航



<デイリー運航セレモニーの様子>



大分空港利用促進期成会

<デイリー運航のPR>

1 航空ネットワークの拡充



② 連続チャーター便

【台北】

➢ タイガーエア台湾

R7.4.2～10.25の週2便運航が決定。

(2) 利用促進

ソウル線の安定的な運航・路線定着を図るため、航空会社と連携し、情報発信と利用促進策を実施。

【インバウンド対策】

진행 예정 이벤트



2024.07.30 ~ 2024.08.05

일본 최강 조합 투쿠오카, 오미타 프로모션 Coming soon!



좋아요 732개
jejuair_official 9주 · 제주항공이 아프리카 취항도 했던 기?! **
이러분 아프리카는 한국에서 2시간 거리에 있음... 더 보기
댓글 14개 모두 보기
7월 30일

<チェジュ航空インバウンド向け広報>



<台湾就航セレモニーの様子>

1 航空ネットワークの拡充



【アウトバウンド対策】

<広告例>



<イベントの様子>



(3)人材確保

国際線運航に必要な航空・空港人材確保に向けた見学会を開催 (R7.2.8)

<全体説明の様子>



<個別相談の様子>



<グループ別説明の様子>



2 アジアと宇宙をつなぐ宇宙港の実現



○R5年度の動き (主なもの)

- ・R5.09 Sierra Space社(以下、SS社)、三菱UFJ銀行、兼松、東京海上日動火災において、戦略的パートナーシップ契約を締結するとともに、SS社に対して出資
- ・R5.11 東京日本橋で開催される国内最大級の宇宙ビジネス展示会 NIHONBASHI SPACE WEEK 2023に出席

○R6年度の動き

- ・R6.07 SS社、兼松、日本航空、県の4者による大分空港を宇宙往還機 Dream Chaserのアジア拠点として活用するための検討を進めるパートナーシップに、新たに三菱UFJ銀行、東京海上日動火災が参入することを発表

○今後の動き (予定)

- ・SSはR7年にも米国でのDream Chaserの打ち上げ及び着陸を予定

○今後の取組方針

- ・SS社、兼松、JAL等と連携しつつ、大分空港の水平型宇宙港としての活用に向けた取組を推進。

Sierra Spaceについて

- ・米国航空宇宙企業Sierra Nevada Co.から、宇宙部門が分社化した企業。
- ・宇宙往還機Dream Chaserを開発しており、NASAから同機によるISS (国際宇宙ステーション) への物資補給ミッションを受託。
- ・DC初号機が宇宙機としての宇宙環境試験を完遂、ケネディ宇宙センターにて打上げ前の最終的な統合準備中
- ・ジェフ・ヘソズ氏率いる宇宙開発企業 Blue Origin等とともに次世代民間宇宙ステーションの開発を推進するほか、SS社独自の地球低軌道居住モジュール LIFE Habitatを開発中。



宇宙往還機ドリームチェイサー (Sierra Space社)

県内企業の宇宙関連の取組事例

位置情報の活用

Bioism

- ・自社の「廃棄物収集車両運行管理システム」に、衛星測位補正情報システムを活用
- ・廃棄物分野のシステムに関する7つの特許を取得

NEW JAPAN MARINE - KYUSHU -

- ・みちびきの測位情報を活用したプレジャーボートの
- ・自動着岸システム「ピタット自動離着岸」を開発

衛星画像データの活用

Agree

- ・衛星データを活用した農作物の生育評価システム「GrowthWatcher」を提供
- ・大分県竹田市、茨城県那珂市、熊本県にて、「GrowthWatcher」を用いた実証事業を実施

株式会社オーイーシー

- ・令和4～5年度経済産業省補助事業に採択
- ・米の収穫適期予測・成分分析の実証に取り組む
- ・SAR衛星観測データを用いた土砂災害検出の実現可能性検証を実施

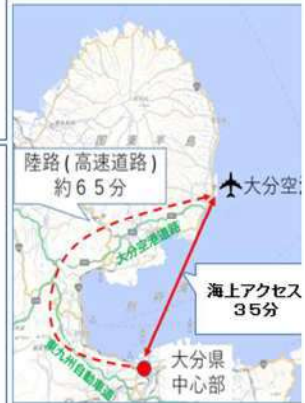
3 空港アクセスの充実



ホバークラフトによる大分空港海上アクセスの整備

【導入方針】

- ◆ 運航開始: 令和7年7月26日(土)
- ◆ 利用者数: 年間30~40万人台を想定
- ◆ 運航計画
 - ・ 船舶: 旅客定員80名程度でバリアフリー対応のホバークラフト
 - ※ 本県が船舶等を保有し、民間事業者が運航を行う、「上下分離方式」を採用
 - ・ ルート: 海上運航距離 約30km、最短所要時間 35分
 - ・ 隻数: 3隻



【運航事業者、旅客ターミナル設計者、造船事業者の決定等<R2~R7>】

- R2.11月 運航事業者を第一交通産業株式会社に決定し、「運航事業に関する基本協定」を締結
- R3.11月 造船事業者をグリフォン・ホバークラフトリミテッド(英国)に決定
- R5.9月 1番船Baïen引渡完了
- R5.11月 2番船Banri引渡完了
- R6.2月 再ターミナル完成
- R6.3月 3番船Tanso引渡完了
- R6.11月 不定期航路(別府湾周遊)就航
- R7.7月 定期航路(空港アクセス)就航



【旅客ターミナル完成写真】

西大分側



大分空港側



【ホバークラフト船体デザイン】



4 空港機能の拡充及び魅力向上(R6年度_大分航空ターミナル(株)事業)



◆人にやさしい空港づくり

おもてなしレベルの向上を図り、ソフト面では、「接客サービス検定」、「サービス介助士」、「手話検定」、「販売士」等の資格者養成を進めました。

ハード面では、「カームダウン・クールダウン室」、「個室型ワークブース」の設置。その他、旅客ターミナルビル拡張工事に着手、搭乗待合室ラウンジ「くにさき」の拡張も行い、快適な空間の提供にも努めました。

安全・安心への取組として、「非常時対応訓練」、「普通救命講習」を主催し、「消火救難隊救急班訓練」、「不法侵入事案対応訓練」等の大分空港事務所主催の訓練にも積極的に参加しました。

また、昨今深刻な脅威とされるサイバーセキュリティ面では、「フィッシングメール訓練」や、よりセキュリティレベルの高いソフトを導入したうえで、有事の際の連絡体制、初期対応手順等の再確認を行いました。

◆地域と共存し環境にやさしい経営の推進

環境に優しい空港の実現に向けては、「2030年CO₂ 46%削減(2013年比)」を目標として、「レジ袋有料化」、「工事図面、契約書等の電子化」を行い、使用資源の削減に努めました。

また、県や地域等と連携した取組については、「大分国際車いすマラソン」、「アルグリッチ音楽祭」等のPRに加え、今期は「高校総体北部九州大会」に向け、県内高校生手作りのカウントダウンボード、宇佐神宮を模した総合案内所を設置し、多くの大会関係者をお迎えしました。

また、11月には天皇皇后両陛下をお迎えして、開催された「第43回全国豊かな海づくり大会」では、第1回開催時の写真展示も含め、大会全体のPRを行いました。

その他、ANA羽田オーケストラによる初ライブや、国際線機内食を直営レストランで提供するなど新たな取組も積極的に行いました。



新設した「カームダウン・クールダウン室」



AED等を使用した「普通救命講習」



北部九州高校総体「案内所」



「ANA羽田オーケストラ」in大分空港

4 空港機能の拡充及び魅力向上 (R6年度 大分航空ターミナル(株)事業)



◆社員が成長し選ばれる職場環境の整備

人財確保に向けて、新設の人事厚生課を中心に、各種就職説明会や、高校・専門学校・大学への訪問など、精力的に採用活動を行いました。また、初任給改定、ベースアップなど給与面の改善に加え、公休日数増など福利厚生面の改善にも着手しました。そのうえで、「人材育成の基本方針」に基づき、社員各階層に応じた役割と責任の明確化を通じ、スキルアップできるよう新研修体系への見直しを行いました。

さらに、女性の管理職割合等を基準とする「おおいたキャリアール」認証を取得し、女性活躍の場や育児環境の充実に図りました。一方で近年、他企業の不祥事を受け、当社においても、全社員対象とする既存コンプライアンス研修に加え、新たに管理職を対象としたハラスメント研修、ビジネス法務検定の受講等、改めてコンプライアンス意識の醸成・強化に取り組みました。

◆事業の持続的発展に向けた財務基盤の強化

業務効率化、生産性向上の観点からデジタル化を推進しました。毎月郵送される多数の請求書について、新たな管理ソフトを導入し、その9割以上を電子管理としました。加えて、会計システム、インターネットバンキングとの連携も同時に進め、支払業務の大幅な工数削減の実現を図りました。

また、直営レストラン「SKY LINE」においては、手軽に細かな注文にもスピーディーに対応できるモバイルオーダーシステムを導入しました。



お仕事(就職)説明会の様子

おおいたキャリアール認証書

「レストランSKY LINE」モバイルオーダーのイメージ

5 目指すべき将来像の実現に向けた戦略的な空港運営



◆コンセッション導入に向けた取組

空港コンセッションについて、最近の動向や空港とその周辺地域の活性化に向けた取組の先行事例等を紹介し、関係者の理解を深めるため、県主催による勉強会をR6.8.22に開催

○勉強会講演内容

・空港コンセッションについて

国土交通省 航空局 航空ネットワーク企画課
空港経営改革推進室 稲葉 一考 企画調整官

・大分空港と地域の活性化について

一般社団法人 プラチナ構想ネットワーク
幕 亮二 九州支部長

・パネルディスカッション

慶應義塾大学商学部 加藤一誠 教授
東京女子大学現代教養学部 矢ヶ崎 紀子 教授

○参加者数

88名(金融機関、経済団体、航空会社、旅行会社等)

